

令和6年度 岡山県脳卒中連携体制検討会議

日時：令和6年10月22日（火）

18:30～19:30

場所：ピュアリティまきび 飛翔

次 第

1 開 会

2 あいさつ

3 会長選出

4 報告事項

(1) 脳卒中の医療連携体制を担う医療機関等における令和5年度実績の集計について

(2) 脳卒中・心臓病等総合支援センターについて

5 その他

(1) 脳卒中月間における広報について

6 閉 会

【資料】

1 脳卒中の医療連携体制を担う医療機関令和5年度実績の集計

2 脳卒中・心臓病等総合支援センターについて

令和6年度 岡山県脳卒中連携体制検討会議 出席者名簿

(委員)

所 属 ・ 職 名	氏 名
倉敷市消防局 副参事兼警防課長	石 原 一 孝
川崎医科大学総合医療センター脳卒中科副部長	井 上 剛
岡山県医師会 常任理事	榑 原 敬
岡山県病院協会 副会長	佐 能 量 雄
川崎医科大学総合医療センター リハビリテーション科 医長 (講師)	杉 山 岳 史
医療法人幸義会 岡山東部脳神経外科病院 理事長	滝 澤 貴 昭
岡山県看護協会 常務理事	武 田 利 恵
岡山大学学術研究院 医歯薬学域 脳神経外科 教授	田 中 將 太
倉敷中央病院 脳神経外科・脳卒中科主任部長	沈 正 樹
岡山市立市民病院 脳神経外科 副院長	徳 永 浩 司
独立行政法人国立病院機構岡山医療センター 脳神経内科医長	奈 良 井 恒
岡山県保健所長会	則 安 俊 昭
川崎医科大学 脳卒中医学 教授	八木田 佳 樹

(敬称略・五十音順)

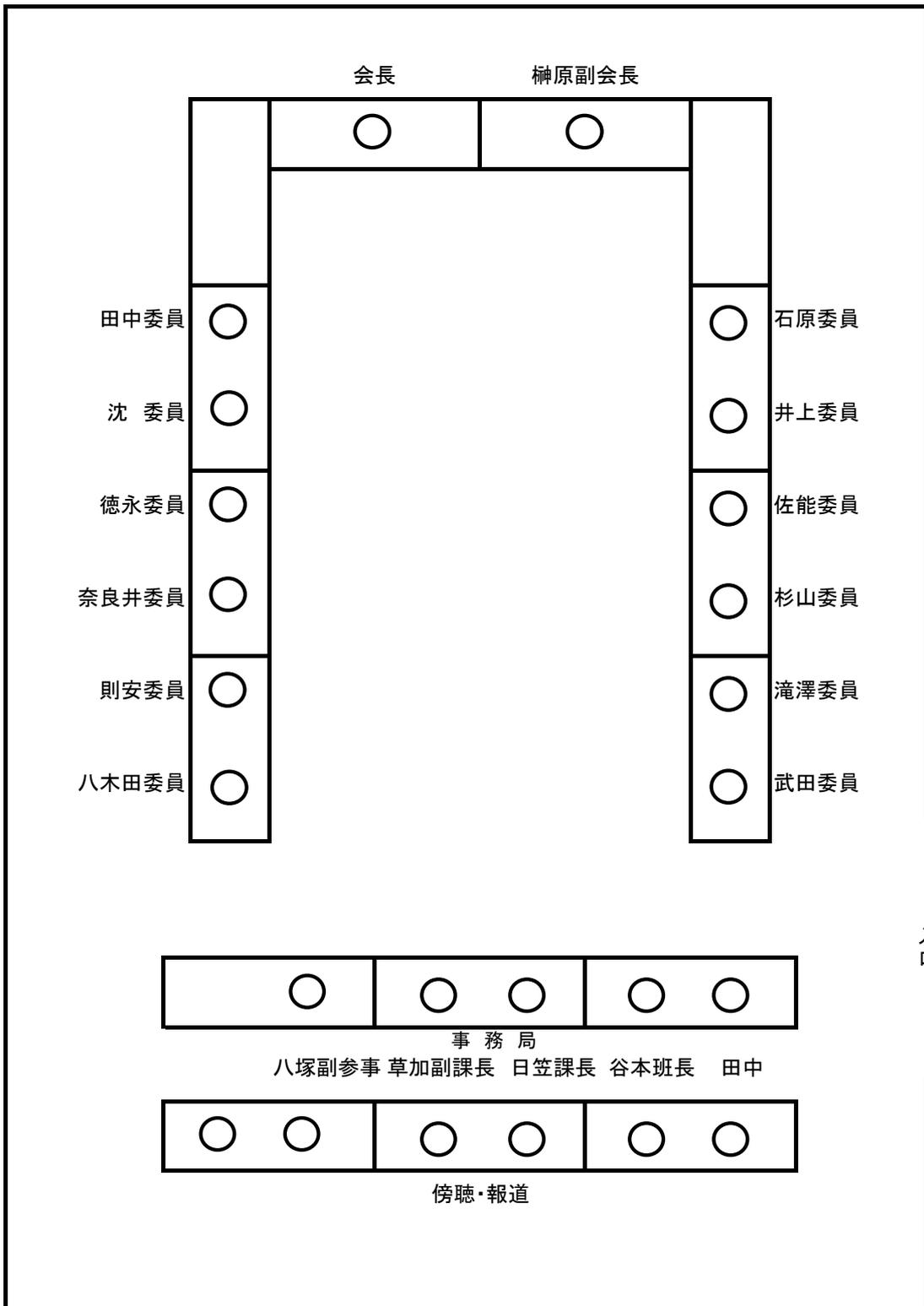
(事務局)

岡山県保健医療部疾病感染症対策課 課長	日 笠 正 文
〃 副課長	草 加 忠 彦
〃 総括副参事	谷 本 敦 史
〃 副参事	八 塚 みつ美
〃 技師	田 中 紗 季

令和6年度 岡山県脳卒中連携体制検討会議 席表

日時: 令和6年10月22(火) 18:30~19:30

場所: ピュアリティまきび 3階 飛翔



岡山県脳卒中連携体制検討会議設置要綱

(目的)

第1条 岡山県保健医療計画に基づき、脳卒中の医療に係る連携体制の構築に向け、急性期・回復期・維持期における継続的な治療や、病態に応じたリハビリテーションなど、患者が安心できる生活を支援するために必要な個別の諸課題について検討するため、医療関係者等からなる岡山県脳卒中連携体制検討会議（以下「検討会議」という。）を設置する。

(所掌事項)

第2条 検討会議は、脳卒中の医療に係る次の事項について協議し、及び検討する。

- (1) 地域連携クリティカルパスの推進
- (2) 連携の推進状況を把握するための指標（目標とする指標を含む。）
- (3) その他脳卒中の医療における医療連携体制の構築に関すること

(組織)

第3条 検討会議は、委員15名以内で組織する。

2 委員は、医療関係者、消防関係者等のうちから知事が委嘱する。

(会長及び副会長)

第4条 検討会議に、会長1名及び副会長1名を置き、委員の中から互選する。

2 会長は、検討会議を代表し、会務を総括する。

3 副会長は、会長を補佐し、会長に事故あるときは、その職務を代理する。

(任期)

第5条 委員の任期は、2年とする。ただし再任は妨げない。

2 委員に欠員が生じた場合の補欠委員の任期は、前任者の残任期間とする。

(会議)

第6条 検討会議の会議は、会長が必要に応じて招集し、会長が議長となる。

(意見の聴取)

第7条 検討会議は、必要があると認めるときは、委員以外の者の出席を求め、その説明を受け、又は意見を聴くことができる。

(庶務)

第8条 検討会議の庶務は、岡山県保健医療部疾病感染症対策課において処理する。

(雑則)

第9条 この要綱に定めるもののほか、検討会議の運営等に関し必要な事項は、会長が別に定める。

附 則

この要綱は、平成20年4月9日から施行する。

附 則

1 この要綱は、平成25年10月10日から施行する。

2 第5条の規定にかかわらず、この要綱の施行後、就任した委員の最初の任期は、平成27年3月31日までとする。

附 則

この要綱は、平成27年10月22日から施行する。

附 則

この要綱は、令和5年4月1日から施行する。

附 則

この要綱は、令和6年4月1日から施行する。

岡山県脳卒中連携体制検討会議 委員名簿

R6. 7. 20～R7. 3. 31

氏 名	所 属 ・ 職 名	選 定 理 由
石 原 一 孝	倉敷市消防局 副参事兼警防課長	救急搬送体制連絡協議会推薦
井 上 剛	川崎医科大学総合医療センター 脳卒中科副部長	県南東部主要病院
小 林 和 樹	津山中央病院 脳神経外科主任部長 兼 脳卒中センター長	県北部主要病院
榊 原 敬	岡山県医師会 常任理事	岡山県医師会推薦
佐 能 量 雄	岡山県病院協会 副会長	岡山県病院協会推薦
杉 山 岳 史	川崎医科大学総合医療センター リハビリテーション科 医長（講師）	県南東部主要病院
滝 澤 貴 昭	医療法人幸義会 岡山東部脳神経外科病院 理事長	主要病院
武 田 利 恵	岡山県看護協会 常務理事	岡山県看護協会推薦
田 中 將 太	岡山大学学術研究院 医歯薬学域 脳神経外科 教授	県南東部主要病院
沈 正 樹	倉敷中央病院 脳神経外科・脳卒中科主任部長	県南西部主要病院
徳 永 浩 司	岡山市立市民病院 脳神経外科 副院長	主要病院
奈 良 井 恒	独立行政法人国立病院機構岡山医療センター 脳神経内科医長	県南東部主要病院
則 安 俊 昭	岡山県保健所長会	岡山県保健所長会推薦
八木田 佳 樹	川崎医科大学 脳卒中医学 教授	県南西部主要病院

（敬称略・五十音順）

**脳卒中の医療連携体制を担う医療機関
令和5年度実績の集計**

令和6年10月

岡山県保健医療部 疾病感染症対策課

< 目 次 >

I	急性期の機能を担う医療機関の状況	… P. 1～ 4
II	回復期の機能を担う医療機関の状況	… P. 5
III	維持期の機能を担う医療機関の状況	… P. 6～ 7
IV	急性期、回復期、維持期を担う医療機関から転棟・転院した患者の状況	… P. 8～ 9
V	急性期、回復期、維持期を担う医療機関における入退院連携状況	… P.10～11
VI	回復期及び維持期の機能を担う医療機関におけるリハビリテーションの状況	… P.12
VII	急性期、回復期、維持期を担う医療機関における自由記載欄	… P.12
VIII	調査様式及び記入要領	… P.13～24
	【付属資料1】各調査項目の関係性（概念図）	… 別添
	【付属資料2】急性期医療機関別実績表	… 別添

【調査内容】

令和5年度（R5.4.1～R6.3.31）における医療機関ごとの治療等実績

【対象及び回収状況】

調査票の様式	担っている医療機能	対象機関数及び内訳	回収
別紙1	急性期	31 急性期Aの医療機能を有する:15 急性期Bの医療機能を有する: 4 急性期Cの医療機能を有する:12	31
別紙2	回復期	50	50
別紙3	維持期	99 維持期(療養病床を有する施設)の医療機能を有する:41 維持期(在宅医療)の医療機能を有する:23 維持期(療養病床を有する施設)及び維持期(在宅医療)の医療機能を有する:35	92

(備考) 別紙3の対象は、維持期の機能を担っているすべての医療機関等であり、この中には急性期、回復期の機能も担っている医療機関が26機関ある。

I 急性期の機能を担う医療機関の状況

1 急性期の機能を担う医療機関における新規脳卒中入院患者数

(人)

担っている医療機能	脳梗塞	一過性脳虚血発作	脳内出血	くも膜下出血	計
急性期(A・B・C) ^(a)	3,592	266	1,112	349	5,319
他の急性期医療機関からの紹介	311	4	145	52	512
上記以外の入院患者	3,281	262	967	297	4,807
急性期(A)	3,195	207	1,028	318	4,748
他の急性期医療機関からの紹介	225	4	107	43	379
上記以外の入院患者	2,970	203	921	275	4,369
急性期(B)	176	28	36	16	256
他の急性期医療機関からの紹介	29	0	16	3	48
上記以外の入院患者	147	28	20	13	208
急性期(C)	221	31	48	15	315
他の急性期医療機関からの紹介	57	0	22	6	85
上記以外の入院患者	164	31	26	9	230

【参考】急性期の機能を担う医療機関における新規入院患者数の推移

(人)

	脳梗塞	一過性脳虚血発作	脳内出血	くも膜下出血	計
平成20年度	4,170	486	1,171	462	6,289
平成21年度	3,872	444	1,228	414	5,958
平成22年度	4,342	354	1,308	462	6,466
平成23年度	3,770	380	1,142	390	5,682
平成24年度	3,628	348	1,097	427	5,500
平成25年度	3,728	428	1,126	424	5,706
平成26年度	3,711	404	1,276	458	5,849
平成27年度	3,773	392	1,242	418	5,825
平成28年度	3,851	376	1,189	382	5,798
平成29年度	3,841	386	1,145	342	5,714
平成30年度	4,039	324	1,123	370	5,856
令和元年度	3,940	341	1,087	337	5,705
令和2年度	3,801	245	1,006	303	5,355
令和3年度	3,642	221	1,053	272	5,188
令和4年度	3,584	198	1,105	364	5,251
令和5年度	3,592	266	1,112	349	5,319

※令和3年度以前の新規入院患者数は、他の急性期医療機関からの紹介分を含まない

2 新規入院患者の来院経緯

(1) 救急車により搬送されてきた新規入院患者数 ※1

(人, %)

搬送先	新規入院患者数(再掲) (a)	うち救急車による搬送 (b)	(b) / (a)
急性期(A・B・C)	5,319	3,081	57.9%
急性期(A)	4,748	2,907	61.2%
急性期(B)	256	80	31.3%
急性期(C)	315	94	29.8%

(2) 新規入院患者の居住地及び入院先医療機関の所在地(二次保健医療圏域別) ※1

(人)

患者居住地 医療機関所在地	県南東部	県南西部	高梁・新見	真庭	津山・英田	県外	計
県南東部	2,357	70	26	3	32	20	2,508
県南西部	94	1,575	69	7	0	25	1,770
高梁・新見	2	2	48	0	0	0	52
真庭	0	0	5	27	8	0	40
津山・英田	6	1	3	43	376	19	448
計	2,459	1,648	151	80	416	64	4,818

(3) 老年人口割における新規入院患者の居住地及び入院先医療機関の所在地(二次保健医療圏域別) ※1.2

(%)

患者居住地 医療機関所在地	県南東部	県南西部	高梁・新見	真庭	津山・英田	計
県南東部	0.91%	0.04%	0.11%	0.02%	0.05%	0.45%
県南西部	0.04%	0.79%	0.30%	0.04%	0.00%	0.32%
高梁・新見	0.00%	0.00%	0.21%	0.00%	0.00%	0.01%
真庭	0.00%	0.00%	0.02%	0.16%	0.01%	0.01%
津山・英田	0.00%	0.00%	0.01%	0.25%	0.64%	0.08%
計	0.95%	0.83%	0.66%	0.47%	0.71%	0.87%

※1 (1)、(2)、(3)ともに医療機関において把握している人数のみ計上している

※2 人口割合として、岡山県毎月流動人口(2023年10月1日現在)の老年人口(65歳以上)を使用している。

3 専門的治療件数

① t-PA静注療法

(件)

年度	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5
件数	158	185	164	154	169	239	207	264	271	318	302	345	287	275	263	267

② 脳内血腫除去術(脳卒中によるもの)

(件)

年度	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5
件数	(339)	(320)	(270)	(248)	(201)	(194)	(221)	(260)	(298)	234	196	182	180	173	144	156

③ 脳動脈瘤クリッピング術

(件)

年度	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5
件数	446	361	389	319	305	335	299	247	253	206	190	200	165	121	118	117

④ 脳動脈瘤および脳動静脈奇形等に対する脳血管内手術

(件)

年度	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5
件数	(138)	(167)	(222)	(273)	(353)	(347)	(401)	(371)	(346)	280	271	284	293	306	312	284

⑤ 選択的脳血栓・塞栓溶解術

(件)

年度	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5
件数	57	85	57	34	22	19	38	57	2	32	10	12	10	7	0	1

⑥ 経皮的脳血管形成術および経皮的脳血管ステント留置術

(件)

年度										H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5
件数	(H29から調査)									20	25	36	25	35	40	20

⑦ 経皮的脳血栓回収術

(件)

年度										H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5
件数	(H28から調査)									119	159	204	283	229	213	268	260

⑧ 頸動脈内膜剥離術

(件)

年度	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5
件数	132	136	116	130	110	112	70	83	97	90	66	65	49	66	47	43

⑨ 頸動脈ステント留置術

(件)

年度	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5
件数	(H29から調査)									100	100	99	86	88	58	73

⑩ 脳動脈バイパス術

(件)

年度	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5
件数	(H29から調査)									36	40	36	25	33	15	26

※②及び④については、H29から定義を大幅に変更したため、H28までを括弧書きによる参考値とするきによる参考値とする

【参考】脳梗塞の新規入院患者(紹介入院を除く^{※1})のうち、t-PA療法を実施した割合

	脳梗塞患者数 ^{※2} (人) A	t-PA療法 治療件数(件) B	割合 (%) B/A
平成28年度	4,167	271	6.5%
平成29年度	4,133	318	7.7%
平成30年度	4,039	302	7.5%
令和元年度	3,940	345	8.8%
令和2年度	3,801	287	7.6%
令和3年度	3,642	275	7.6%
令和4年度	3,584	263	7.3%
令和5年度	3,592	267	7.4%

※1 令和3年度以前の新規入院患者数は、他の急性期医療機関からの紹介分を含まない。

※2 平成28・29年度は、急性期と回復期両方の機能を担う医療機関に対して、1つの様式で調査を実施しており、急性期を担う医療機関と、急性期及び回復期両方を担う医療機関の新規入院患者数の合計を使用している。

平成30年度からは、急性期と回復期両方の機能を担う医療機関に対し、それぞれの機能別で調査を実施しており、急性期の新規入院患者数を使用している。

【参考】再発による入院患者数

(人, %)

急性期	脳梗塞	一過性脳 虚血発作	脳内出血	くも膜下出血	計
新規入院患者数(再掲) (a)	3,592	266	1,112	349	5,319
うち再発による入院 ^{※3} (b)	278	20	36	7	341
(b) / (a)	7.7%	7.5%	3.2%	2.0%	6.4%

※3 医療機関において把握している人数のみ計上している。

II 回復期の機能を担う医療機関の状況

1 回復期の機能を担う医療機関における脳卒中入院患者数

(人)

担っている医療機能	脳梗塞	一過性脳虚血発作	脳内出血	くも膜下出血	計
回復期	1,728	73	580	178	2,559
急性期病院からの新規入院患者数 (X)	1,075	4	431	141	1,651
(X)以外の医療機関からの紹介	653	69	149	37	908

2 新規入院患者の来院経緯

(1) 新規入院患者の居住地及び入院先医療機関の所在地(二次保健医療圏域別) ※1

(人)

患者居住地 医療機関所在地	県南東部	県南西部	高梁・新見	真庭	津山・英田	県外	計
県南東部	1,122	34	7	0	11	11	1,185
県南西部	65	955	38	3	0	7	1,068
高梁・新見	1	0	18	0	0	0	19
真庭	0	1	1	18	2	0	22
津山・英田	2	0	2	12	164	3	183
計	1,190	990	66	33	177	21	2,477

※1 医療機関において把握している人数のみ計上している

Ⅲ 維持期の機能を担う医療機関の状況

1 維持期の機能を担う医療機関等における脳卒中患者の状況

(人)

区分	通院患者数	往診患者数	入院または 入所患者数	通所リハ 利用者数	その他	合計
総患者数	9,635	648	2,732	907	17	13,939
うちR5 新規患者	1,629	217	911	160	0	2,917

【参考】医療機関所在圏域別の患者数

(人)

区分	通院患者数	往診患者数	入院または 入所患者数	通所リハ 利用者数	その他	合計
総患者数 (再掲)	9,635	648	2,732	907	17	13,939
県南東部	1,896	106	738	262	0	3,002
県南西部	4,201	291	1,162	502	0	6,156
高梁・新見	1,610	22	197	85	0	1,914
真庭	355	20	119	7	0	501
津山・英田	1,573	209	516	51	17	2,366

【参考】医療機関所在圏域別の患者割合

(%)

区分	通院患者数	往診患者数	入院または 入所患者数	通所リハ 利用者数	その他	合計
総患者数	69.1%	4.6%	19.6%	6.5%	0.1%	100.0%
県南東部	63.2%	3.5%	24.6%	8.7%	0.0%	100.0%
県南西部	68.2%	4.7%	18.9%	8.2%	0.0%	100.0%
高梁・新見	84.1%	1.1%	10.3%	4.4%	0.0%	100.0%
真庭	70.9%	4.0%	23.8%	1.4%	0.0%	100.0%
津山・英田	66.5%	8.8%	21.8%	2.2%	0.7%	100.0%

【参考】総患者数の推移

(人)

	通院患者数	往診患者数	入院または 入所患者数	通所リハ 利用者数	その他	合計
平成22年度	15,825	674	5,323	1,344	35	23,201
平成23年度	16,916	708	5,603	1,278	16	24,521
平成24年度	13,746	845	5,654	1,595	5	21,845
平成25年度	13,247	1,029	5,362	1,598	23	21,259
平成26年度	15,431	704	5,651	1,558	17	23,361
平成27年度	15,622	817	5,755	1,510	38	23,742
平成28年度	14,389	925	5,139	1,973	10	22,436
平成29年度	14,315	625	3,637	1,406	16	19,999
平成30年度	12,182	602	3,397	1,707	12	17,900
令和元年度	11,177	705	3,531	1,215	85	16,713
令和2年度	9,489	665	2,383	992	76	13,605
令和3年度	11,197	770	2,858	1,218	28	16,071
令和4年度	11,195	638	2,706	1,042	21	15,602
令和5年度	9,635	648	2,732	907	17	13,939

2 急性期又は回復期の機能を担う医療機関から維持期への紹介の状況

(1) 患者数

(人)

区分	急性期病院から	回復期病院から	合計
紹介を受けた 新規患者数	1,071	319	1,390
自院内の転棟	491	32	523
他院からの転院	580	287	867

(2) 医療機関数

(機関数)

区分	急性期病院から	回復期病院から
紹介を受けた 医療機関数	75	57
自院内の転棟	10	10
他院からの転院	65	47

IV 急性期、回復期、維持期を担う医療機関から転棟・転院した患者の状況

(1) 在宅等生活の場に復帰した患者数 ※

(人, %)

入院元	入院患者数 (紹介含む)	在宅等生活の場に 復帰した患者数	在宅等復帰率
急性期	5,319	2,290	43.1%
急性期(A)	4,748	2,037	42.9%
急性期(B)	256	86	33.6%
急性期(C)	315	167	53.0%
回復期	2,559	1,649	64.4%

※ 在宅等とは、在宅、グループホーム、有料老人ホームなど、医師が配置されていない生活の場のこと。

(2) 介護保険を利用した施設(老健・特養・介護医療院)へ転院した患者数

(人, %)

入院元	入院患者数 (紹介含む) 維持期は総患者数	介護保険を利用した施設 へ転院した患者数	介護保険を使用した施設 への転院率
回復期	2,559	396	15.5%
維持期	13,939	228	1.6%

(3) 脳卒中再発により急性期A病院へ転棟・転院した患者数

(人, %)

入院元	入院患者数(紹介含む) (再掲) 維持期は総患者数	急性期(A)への 紹介患者数	割合
急性期	5,319	35	0.7%
急性期(A)	4,748	21	0.4%
急性期(B)	256	6	2.3%
急性期(C)	315	8	2.5%
回復期	2,559	78	3.0%
維持期	13,939	45	0.3%

(4)脳卒中再発により急性期A病院以外の医療機関へ転棟・転院した患者数

(人, %)

入院元	入院患者数(紹介含む) (再掲) 維持期は総患者数	急性期A病院以外の 医療機関へ転棟・転院した 患者数	急性期A病院以外への 転棟・転院率
急性期	5,319	64	1.2%
急性期(A)	4,748	64	1.3%
急性期(B)	256	0	0.0%
急性期(C)	315	0	0.0%
回復期	2,559	39	1.5%
維持期	13,939	24	0.2%

(5)回復期を担う医療機関へ転棟・転院した患者数

(人, %)

入院元	入院患者数 (紹介含む)	回復期への 転棟・転院した患者数	割合
急性期	5,319	1,992	37.5%
急性期(A)	4,748	1,832	38.6%
急性期(B)	256	93	36.3%
急性期(C)	315	67	21.3%

(6)維持期を担う医療機関へ転棟・転院した患者数

(人, %)

入院元	入院患者数 (紹介含む)	維持期への 転棟・転院した患者数	割合
急性期	5,319	309	5.8%
急性期(A)	4,748	267	5.6%
急性期(B)	256	22	8.6%
急性期(C)	315	20	6.3%
回復期	2,559	248	9.7%

V 急性期、回復期、維持期を担う医療機関における入退院連携状況

(1) 退院時に入退院支援加算を算定している医療機関数

(機関数, %)

担っている医療機能	医療機関数 (a)	入退院支援加算算定医療機関数 (b)	左記の割合 (b) / (a)
急性期	31	28	90.3%
回復期	50	38	76.0%
急性期+回復期	81	66	81.5%

(2) 退院時の入退院支援加算の算定件数

(件数, %)

担っている医療機能	入退院支援加算算定件数 (c)	(c)のうち地域連携診療計画加算算定件数 (d)	左記の割合 (d) / (c)
急性期	7,229	1,445	20.0%
回復期	2,649	813	30.7%
急性期+回復期	9,878	2,258	22.9%

(3) 脳卒中地域連携クリティカルパス実施状況

(機関, 件数, %)

担っている医療機能	医療機関数 (a)	パス導入機関数 (b)	左記の割合 (b) / (a)	パス利用件数(件)		
				(内訳)		
				自院発行	他院発行	
急性期	31	22	71.0%	2,249	2,229	20
回復期	50	34	68.0%	988		
急性期+回復期	81	56	69.1%	3,237	2,229	20

【参考】急性期又は回復期の機能を担う医療機関における地域連携クリティカルパスの推移

	医療機関数 (a)	パス導入 機関数 (b)	左記の割合 (b)／(a)	パス作成件数(件)※		
				(内訳)		
				自院作成	他院作成	
平成20年度	54	26	48.1%	1,264	882	382
平成21年度	57	43	75.4%	2,676	1,828	848
平成22年度	62	52	83.9%	3,032	2,099	933
平成23年度	63	52	82.5%	3,355	2,182	1,173
平成24年度	63	52	82.5%	3,417	2,155	1,262
平成25年度	65	55	84.6%	3,335	2,254	1,081
平成26年度	65	57	87.7%	3,487	2,361	1,126
平成27年度	65	58	89.2%	3,493	2,350	1,143
平成28年度	63	57	90.5%	3,209	2,123	1,086
平成29年度	64	57	89.1%	3,849	2,696	1,153
平成30年度	80	56	70.0%	3,895	2,434	149
令和元年度	78	57	73.1%	3,833	2,482	174
令和2年度	79	55	69.6%	4,187	2,732	113
令和3年度	79	60	75.9%	3,157	2,026	105
令和4年度	79	56	70.9%	2,981	1,798	57
令和5年度	81	56	69.1%	3,237	2,229	20

※H30年度以降のパス作成件数の自院・他院発行については、急性期医療機関のみの調査としている。

VI 回復期及び維持期の機能を担う医療機関におけるリハビリテーションの状況

(1) 回復期リハビリテーション病棟入院料 届出状況

(機関数, %)

担っている機能		入院料 届出施設基準(b)						
		1	2	3	4	5	届出なし	
回復期	医療機関数 ^(a)	50	16	0	4	0	0	30
	割合 (b) / (a)		32.0%	0.0%	8.0%	0.0%	0.0%	60.0%

(2) 脳卒中患者におけるリハビリテーション実施状況

(人)

区分	脳血管疾患等リハビリテーション料 算定人数	
	入院患者	外来患者
回復期	6,845	
維持期	4,398	687

VII 急性期、回復期、維持期を担う医療機関における自由記載欄

・脳梗塞やくも膜下出血を伴わない内頸動脈解離や椎骨動脈解離は項目がないので、除外にしますが、項目の追加はいかがですか。

・血栓溶解療法を含め急性期に南部の高度急性期病院へ送るのはそうすべきと考えますが、それが終わって回復期に転院となった時に、必ずしも新見地区に帰ってこない症例が多いと思います。同じ県南の回復期病院へ回されて、ほぼすることが無くなって(後は施設を待つとか)から、新見に紹介となる事例が多いです。回復期リハビリ病棟ではなくても当院などはPT・OT・ST全部揃っているの、患者サイドの希望にもよるでしょうが、南部で患者を回さずに、新見地区に返してほしいと思います。症例が増えないことには、回復期リハビリをやりたくてもできません。

・医療連携がスムーズに行われるように可能な限り体制を整えてまいります。

脳卒中医療連携評価シート(急性期を担う医療機関用)

病院名			
連絡先	部署名:	担当者氏名:	
	電話番号:	FAX番号:	
貴院が担う <u>全ての</u> 医療機能に○を御記入ください。 <p style="text-align: center;">急性期 (A ・ B ・ C)</p> <p style="text-align: center;">回復期 (回復期リハビリ病棟 ・ それ以外)</p> <p style="text-align: center;">維持期 (介護保険サービス 有 ・ 無)</p>			

1. 令和5年度(R5/4/1~R6/3/31)に、貴院へ入院した急性期の脳卒中患者の状況

脳卒中による入院患者数 (実人数)	自院以外の急性期病院からの紹介による入院患者数	それ(左記)以外の入院患者数【a】	【a】のうち再発による入院患者数
脳梗塞	人	人	人
一過性脳虚血発作	人	人	人
脳内出血	人	人	人
くも膜下出血	人	人	人
【ア】 合計		人	

合計【ア】のうち救急車で搬送された患者数	人
----------------------	---

合計【ア】のうち居住圏域ごとの患者数	県南東部	(岡山市、玉野市、備前市、瀬戸内市、赤磐市、和気町、吉備中央町)	人
	県南西部	(倉敷市、笠岡市、井原市、総社市、浅口市、早島町、里庄町、矢掛町)	人
	高梁・新見	(高梁市、新見市)	人
	真庭	(真庭市、新庄村)	人
	津山・英田	(津山市、美作市、鏡野町、勝央町、奈義町、西粟倉村、久米南町、美咲町)	人
	岡山県外		人

2. 令和5年度(R5/4/1~R6/3/31)に、貴院から転・退院した急性期の脳卒中患者の状況

(1) 在宅等生活の場に復帰した患者数	人
(2) 脳卒中再発により急性期A病院へ転棟・転院した患者数 <small>※急性期A病院については、「回答にあたっての留意事項」をご確認ください。 ※症候性てんかんを含む</small>	人
(3) 脳卒中再発により(2)以外の急性期医療機関へ転棟・転院した患者数 <small>※症候性てんかんを含む</small>	人
(4) 回復期を担う医療機関(自院を含む)へ転棟・転院した患者数	人
(5) 維持期を担う医療機関(自院を含む)へ転棟・転院した患者数	人

病院名	
-----	--

3. 令和5年度(R5/4/1～R6/3/31)の専門的治療等実施状況

区分	実施件数
① t-PA静注療法	件
② 脳内血腫除去術（脳卒中によるもの）	件
③ 脳動脈瘤クリッピング術	件
④ 脳動脈瘤および脳動静脈奇形等に対する脳血管内手術	件
⑤ 選択的脳血栓・塞栓溶解術	件
⑥ 経皮的脳血管形成術および経皮的脳血管ステント留置術	件
⑦ 経皮的脳血栓回収術	件
⑧ 頸動脈内膜剥離術	件
⑨ 頸動脈ステント留置術	件
⑩ 脳動脈バイパス術	件

4. 令和5年度(R5/4/1～R6/3/31)の脳卒中患者における入退院連携状況

(1) 退院時にA246 入退院支援加算の算定件数	件
上記(1)のうち	
(2)-① 脳卒中地域連携クリティカルパス実施状況	実施している ・ 実施していない
(2)-② 貴院が発行したクリティカルパス数	件
(2)-③ 他院が発行したクリティカルパスの利用件数	件
(3) 上記(1)の内、A246 地域連携診療計画加算の算定件数	件

5. 脳卒中の医療連携体制に関して御意見等があれば記入をお願いします。

調査は以上です。御協力ありがとうございました！

脳卒中医療連携評価シート(回復期を担う医療機関用)

病院名			
連絡先	部署名:	担当者氏名:	
	電話番号:	FAX番号:	
貴院が担う <u>全ての</u> 医療機能に○を御記入ください。 急性期 (A ・ B ・ C) 回復期 (回復期リハビリ病棟 ・ それ以外) 維持期 (介護保険サービス 有 ・ 無)			

1. 令和5年度(R5/4/1~R6/3/31)に、貴院へ入院した回復期の脳卒中患者の状況

脳卒中による入院患者数 (実人数)	急性期病院からの紹介による入院患者数	それ(左記)以外の入院患者数【a】
脳梗塞	人	人
一過性脳虚血発作	人	人
脳内出血	人	人
くも膜下出血	人	人
【ア】 合計		人

合計【ア】のうち居住圏域ごとの患者数	県南東部	(岡山市、玉野市、備前市、瀬戸内市、赤磐市、和気町、吉備中央町)	人
	県南西部	(倉敷市、笠岡市、井原市、総社市、浅口市、早島町、里庄町、矢掛町)	人
	高梁・新見	(高梁市、新見市)	人
	真庭	(真庭市、新庄村)	人
	津山・英田	(津山市、美作市、鏡野町、勝央町、奈義町、西粟倉村、久米南町、美咲町)	人
	岡山県外		人

2. 令和5年度(R5/4/1~R6/3/31)に、貴院から転・退院した回復期の脳卒中患者の状況

(1) 在宅等生活の場に復帰した患者数	人
(2) 介護保険を使用した施設(老健・特養・介護医療院)へ転院した患者数	人
(3) 脳卒中再発により急性期A病院へ転棟・転院した患者数 <small>※急性期A病院については、「回答にあたっての留意事項」をご確認ください。 ※症候性てんかんを含む</small>	人
(4) 脳卒中再発により(3)以外の急性期医療機関へ転棟・転院した患者数 <small>※症候性てんかんを含む</small>	人
(5) 維持期を担う医療機関(自院を含む)へ転棟・転院した患者数	人

病院名	
-----	--

3. 令和5年度（R5/4/1～R6/3/31）の脳卒中患者における入退院連携状況

（1）退院時にA246 入退院支援加算の算定件数	件
上記（1）のうち	
（2）-① 脳卒中地域連携クリティカルパス実施状況	実施している ・ 実施していない
（2）-② クリティカルパスの利用件数	件
（3）上記（1）の内、A246 地域連携診療計画加算の算定件数	件

4. 回復期リハビリテーション病棟入院料 届出状況

A308 回復期リハビリテーション病棟入院料 中国四国厚生局へ届け出ている施設基準 【入院料1～5の該当数字に「○」印をつけてください。】	1	2	3
	4	5	
	届出なし		

5. 令和5年度（R5/4/1～R6/3/31）の脳卒中患者におけるリハビリテーション実施状況

H001 脳血管疾患等リハビリテーション料を算定した患者数	人
-------------------------------	---

6. 脳卒中の医療連携体制に関して御意見等があれば記入をお願いします。

調査項目は以上です。御協力ありがとうございました！

脳卒中医療連携評価シート(維持期を担う医療機関用)

病院名			
連絡先	部署名:	担当者氏名:	
	電話番号:	FAX番号:	
貴院・貴施設が担う <u>全ての</u> 医療機能に○を御記入ください。 急性期 (A ・ B ・ C) 回復期 (回復期リハビリ病棟 ・ それ以外) 維持期 (介護保険サービス 有 ・ 無)			

1. 令和5年度(R5/4/1~R6/3/31)の、貴院・貴施設における脳卒中患者の状況

脳卒中患者数(実人数)	R6/3/31現在の 総患者数	左記のうち、 R5/4/1~R6/3/31に 新たに患者となった数
① 通院患者	人	人
② 往診患者(訪問看護、訪問リハ含む)	人	人
③ 入院または入所患者	人	人
④ 通所リハビリテーション利用者(①~③を除く)	人	人
⑤ その他(①~④を除く)	人	人

2. 令和5年度(R5/4/1~R6/3/31)の新規患者のうち、紹介によるもの

紹介元	自院・自施設からの紹介(転棟)	他院からの紹介
① 急性期を担う医療機関からの紹介	人	人
② 回復期を担う医療機関からの紹介	人	人

3. 令和5年度(R5/4/1~R6/3/31)に、貴院・貴施設から転・退院(在宅の場合、入院)した脳卒中患者の状況

(1) 介護保険を使用した施設(老健・特養・介護医療院)へ転院した患者数	人
(2) 脳卒中再発により、急性期A病院へ転棟・転院した患者数 <small>※急性期A病院については、「回答にあたっての留意事項」をご確認ください。 ※症候性てんかんを含む</small>	人
(3) 脳卒中再発により、(2)以外の医療機関へ転棟・転院した患者数 <small>※症候性てんかんを含む</small>	人

病院名	
-----	--

4. 令和5年度(R5/4/1~R6/3/31)の脳卒中患者におけるリハビリテーション実施状況

リハビリテーション実施人数(実人数)	入院患者	外来患者
H001 脳血管疾患等リハビリテーション料算定人数	人	人

5. 脳卒中の医療連携体制に関して御意見等があれば記入をお願いします。

--

調査項目は以上です。御協力ありがとうございました！

様式1 脳卒中医療連携評価シート（急性期を担う医療機関用）

<回答にあたっての留意事項>

1. 令和5年度（R5/4/1～R6/3/31）に、貴院へ入院した急性期の脳卒中患者の状況

- 令和5年度中の新規入院患者について、「自院以外の急性期病院からの紹介による入院患者数」と「それ（左記）以外の入院患者数【a】」に分けて、疾患ごとの実人数を記載してください。
 - ※ 「それ（左記）以外の入院患者数【a】」は、急性期病院以外（回復期・維持期）からの紹介患者と、紹介によらない患者（救急搬送を含む）の合計人数になります。他の急性期病院に紹介した患者は除いてください（急性期病院の新規入院患者数の重複を防ぐため）。
- 「【a】のうち再発による入院患者数」には、脳卒中の再発による入院患者数を記載してください。「再発」の定義は定めておりませんので、各医療機関において「再発」と判断できる患者数を計上してください。把握できている患者のみで結構です。また、把握していない場合は「0人」としてください。（前回発症時に、他院で治療を行っている場合も含まれます。）
- 「合計【ア】のうち救急車で搬送された患者数」には、救急車で搬送されてきた入院患者数を記載してください。把握できている患者のみで結構です。また、把握していない場合は「0人」としてください。
- 「合計【ア】のうち居住圏域ごとの患者数」には、居住地が把握できている患者について、二次保健医療圏域別に人数を記載してください。各項目を合わせた人数が、合計【ア】に足りなくても構いません。

2. 令和5年度（R5/4/1～R6/3/31）に、貴院から転・退院した急性期の脳卒中患者の状況

(1) 在宅等生活の場に復帰した患者数

「在宅等」は、自宅のほか、グループホーム、有料老人ホーム、サービス付き高齢者向け住宅などの医師が配置されていない生活の場を含みます。

(2) 脳卒中再発により急性期A病院へ転棟・転院した患者数

以下の病院へ転棟・転院した人数の合計を記載してください。

[岡山市]	[倉敷市]
・ 国立病院機構 岡山医療センター	・ 川崎医科大学附属病院
・ 岡山旭東病院	・ 倉敷中央病院
・ 岡山市立市民病院	・ 倉敷平成病院
・ 岡山赤十字病院	
・ 岡山大学病院	[真庭市]
・ 川崎医科大学総合医療センター	・ 金田病院
・ 岡山済生会総合病院	
・ 岡山ろうさい病院	[津山市]
・ 岡山東部脳神経外科病院	・ 津山中央病院
・ 岡山中央病院	

(3) 脳卒中再発により（2）以外の急性期医療機関へ転棟・転院した患者数

上記<急性期A>以外へ転棟・転院した患者数を記載してください。

(4) 回復期を担う医療機関（自院を含む）へ転棟・転院した患者数

「回復期」の機能を担っているとされる病棟・病院等へ転棟・転院した患者数を記載してください。

参考に、岡山県保健医療計画において、各期の医療機能を満たす医療機関から届出を頂いている医療機関一覧を、添付しております。

(5) 維持期を担う医療機関（自院を含む）へ転棟・転院した患者数

「維持期」の機能を担っているとされる病棟・病院等へ転棟・転院した患者数を記載してください。

参考に、岡山県保健医療計画において、各期の医療機能を満たす医療機関から届出を頂いている医療機関一覧を、添付しております。

3. 令和5年度（R5/4/1～R6/3/31）の専門的治療等実施状況

- ・ 下表の区分に従い、実際に行った治療等の件数を記載してください。
- ・ 待機的手術を含みます。
- ・ 1回の手術で複数の治療を行った場合は、それぞれを1件としてカウントしてください。
- ・ 担当医師に確認していただく等の方法により、診療報酬を算定していないものについても、可能な限り実施件数に含めてください。

区分	左記の各区分に含まれる治療内容（診療報酬点数表のコード等）
① t-PA 静注療法	脳梗塞と診断された患者に対し、発症後 4.5 時間以内に組織プラスミノゲン活性化因子を投与した件数（A205-2 超急性期脳卒中加算を算定していない場合も件数に含める）
② 脳内血腫除去術 （脳卒中によるもの）	K164 頭蓋内血腫除去術（開頭して行うもの） K164-4 定位的脳内血腫除去術 K164-5 内視鏡下脳内血腫除去術
③ 脳動脈瘤クリッピング術	K176 脳動脈瘤流入血管クリッピング（開頭して行うもの） K177 脳動脈瘤頸部クリッピング
④ 脳動脈瘤および脳動静脈奇形等に対する脳血管内手術	K178 脳血管内手術
⑤ 選択的脳血栓・塞栓溶解術	K178-3 経皮的選択的脳血栓・塞栓溶解術
⑥ 経皮的脳血管形成術および経皮的脳血管ステント留置術	K178-2 経皮的脳血管形成術 K178-5 経皮的脳血管ステント留置術（頭蓋内）
⑦ 経皮的脳血栓回収術	K178-4 経皮的脳血栓回収術
⑧ 頸動脈内膜剥離術	K609 動脈血栓内膜摘出術 2内頸動脈
⑨ 頸動脈ステント留置術	K609-2 経皮的頸動脈ステント留置術
⑩ 脳動脈バイパス術	頭蓋外-頭蓋内血管吻合 （STA-MCA 吻合術およびハイフローバイパス）

4. 令和5年度（R5/4/1～R6/3/31）の脳卒中患者の入退院連携状況

(1) 退院時に A246 入退院支援加算を算定した件数を記載してください。

1人の患者に複数回算定している場合も、「1（件）」とカウントしてください。

(2) 「地域連携クリティカルパス」実施状況について記載してください。

「岡山県の脳卒中地域連携診療計画書」などの書式を使用して、患者や紹介先医療機関に対し、治療の経過や今後の診療計画の説明を行っているかどうかを記載してください。岡山県が定めた書式以外を使用している場合も含みます。また、地域連携診療計画加算を算定していない場合も含みます。

(3) 上記（1）の内、地域医療診療計画加算の算定件数を記載してください。

1人の患者に複数回算定している場合も、「1（件）」とカウントしてください。

様式2 脳卒中医療連携評価シート（回復期を担う医療機関用）

<回答にあたっての留意事項>

1. 令和5年度（R5/4/1～R6/3/31）に、貴院へ入院した回復期の脳卒中患者の状況

- ・ 令和5年度中の新規入院患者について、「急性期病院からの紹介による入院患者数」と「それ（左記）以外の入院患者数【a】」に分けて、疾患ごとの実人数を記載してください。
 - ※ 「それ（左記）以外の入院患者数【a】」は、急性期病院以外（回復期・維持期）からの紹介患者と、紹介によらない患者（救急搬送を含む）の合計人数になります。
- ・ 「合計【ア】のうち居住圏域ごとの患者数」には、居住地が把握できている患者について、二次保健医療圏域別に人数を記載してください。各項目を合わせた人数が、合計【ア】に足りなくても構いません。

2. 令和5年度（R5/4/1～R6/3/31）に、貴院から転・退院した回復期の脳卒中患者の状況

（1）在宅等生活の場に復帰した患者数

「在宅等」は、自宅のほか、グループホーム、有料老人ホーム、サービス付き高齢者向け住宅などの医師が配置されていない生活の場を含みます。

（2）介護保険を使用した施設（老健・特養・介護医療院）へ転院した患者数

把握できている患者のみで結構です。

（3）脳卒中再発により 急性期A病院へ転棟・転院した患者数

以下の病院へ転棟・転院した人数の合計を記載してください。

[岡山市]	[倉敷市]
・ 国立病院機構 岡山医療センター	・ 川崎医科大学附属病院
・ 岡山旭東病院	・ 倉敷中央病院
・ 岡山市立市民病院	・ 倉敷平成病院
・ 岡山赤十字病院	
・ 岡山大学病院	[真庭市]
・ 川崎医科大学総合医療センター	・ 金田病院
・ 岡山済生会総合病院	
・ 岡山ろうさい病院	[津山市]
・ 岡山東部脳神経外科病院	・ 津山中央病院
・ 岡山中央病院	

（4）脳卒中再発により（3）以外の急性期医療機関へ転棟・転院した患者数

上記<急性期A>以外へ転棟・転院した患者数を記載してください。

(5) 維持期を担う医療機関（自院を含む）へ転棟・転院した患者数

「維持期」の機能を担っているとされる病棟・病院等へ転棟・転院した患者数を記載してください。

参考に、岡山県保健医療計画において、各期の医療機能を満たす医療機関から届出を頂いている医療機関一覧を、添付しております。

3. 令和5年度（R5/4/1～R6/3/31）の脳卒中患者の入退院連携状況

(1) 退院時に A246 入退院支援加算を算定した件数を記載してください。

1人の患者に複数回算定している場合も、「1（件）」とカウントしてください。

(2) 「地域連携クリティカルパス」実施状況について記載してください。

「岡山県の脳卒中地域連携診療計画書」などの書式を使用して、患者や紹介先医療機関に対し、治療の経過や今後の診療計画の説明を行っているかどうかを記載してください。

岡山県が定めた書式以外を使用している場合も含みます。

また、A246 地域連携診療計画加算を算定していない場合も含みます。

(3) 上記（1）の内、A246 地域医療診療計画加算の算定件数を記載してください。

1人の患者に複数回算定している場合も、「1（件）」とカウントしてください。

4. 回復期リハビリテーション病棟入院料 届出状況

- ・ A308 回復期リハビリテーション病棟入院料について中国四国厚生局へ届出ている施設基準により、該当する数字等に「○」印をご記入ください。（基本的には1～5のいずれかに当てはまると考えられます。）

届出ている場合・・・・・・・・入院料「1～5」の該当する数字

届出していない場合・・・・・・・・「届出なし」

5. 令和5年度（R5/4/1～R6/3/31）のリハビリテーション実施状況

- ・ H001 脳血管疾患等リハビリテーション料を算定した患者数を記載してください。

1人の患者に複数回算定している場合も、「1（件）」とカウントしてください。

様式3 脳卒中医療連携評価シート（維持期を担う医療機関用）

<回答にあたっての留意事項>

1. 令和5年度（R5/4/1～R6/3/31）の、貴院・貴施設における脳卒中患者の状況

- ・ 「脳梗塞」「脳内出血」「くも膜下出血」「一過性脳虚血発作」の患者数の合計を記載してください。
- ・ 「R6/3/31現在の総患者数」には、令和5年度以前から貴院・貴施設で治療中（R6/3/31時点で継続中）の患者を含み、令和5年度の途中で治療を終了（または転院）した患者を除きます。
- ・ 脳卒中予防（または再発防止）のために貴院で投薬を行っている場合も、回答に含めてください。ただし、脳卒中の既往歴がある患者でも、経過観察のみで特段の処置等を行っていない場合は除いてください。
- ・ ④通所リハビリテーション利用者については、①通院患者、②往診患者（訪問看護、訪問リハ含む）、③入院または入所患者を除いた人数を記載してください。⑤その他については、①～④を除いた人数を記載してください。

2. 令和5年度（R5/4/1～R6/3/31）の新規患者のうち、紹介によるもの

- ・ 急性期と回復期の両方を担う医療機関から紹介があった患者で、どちらの機能（病床）からの紹介が分からない場合は、「①急性期を担う医療機関からの紹介」に含めてください。

3. 令和5年度（R5/4/1～R6/3/31）に、貴院・貴施設から転・退院（在宅患者の場合、入院）した脳卒中患者の状況

（1）介護保険を使用した施設（老健・特養・介護医療院）へ転院した患者数把握できている患者のみで結構です。

（2）脳卒中再発により、急性期A病院へ転棟・転院した患者数以下の病院へ転棟・転院した人数の合計を記載してください。

[岡山市]	[倉敷市]
・ 国立病院機構 岡山医療センター	・ 川崎医科大学附属病院
・ 岡山旭東病院	・ 倉敷中央病院
・ 岡山市立市民病院	・ 倉敷平成病院
・ 岡山赤十字病院	
・ 岡山大学病院	[真庭市]
・ 川崎医科大学総合医療センター	・ 金田病院
・ 岡山済生会総合病院	
・ 岡山ろうさい病院	[津山市]
・ 岡山東部脳神経外科病院	・ 津山中央病院
・ 岡山中央病院	

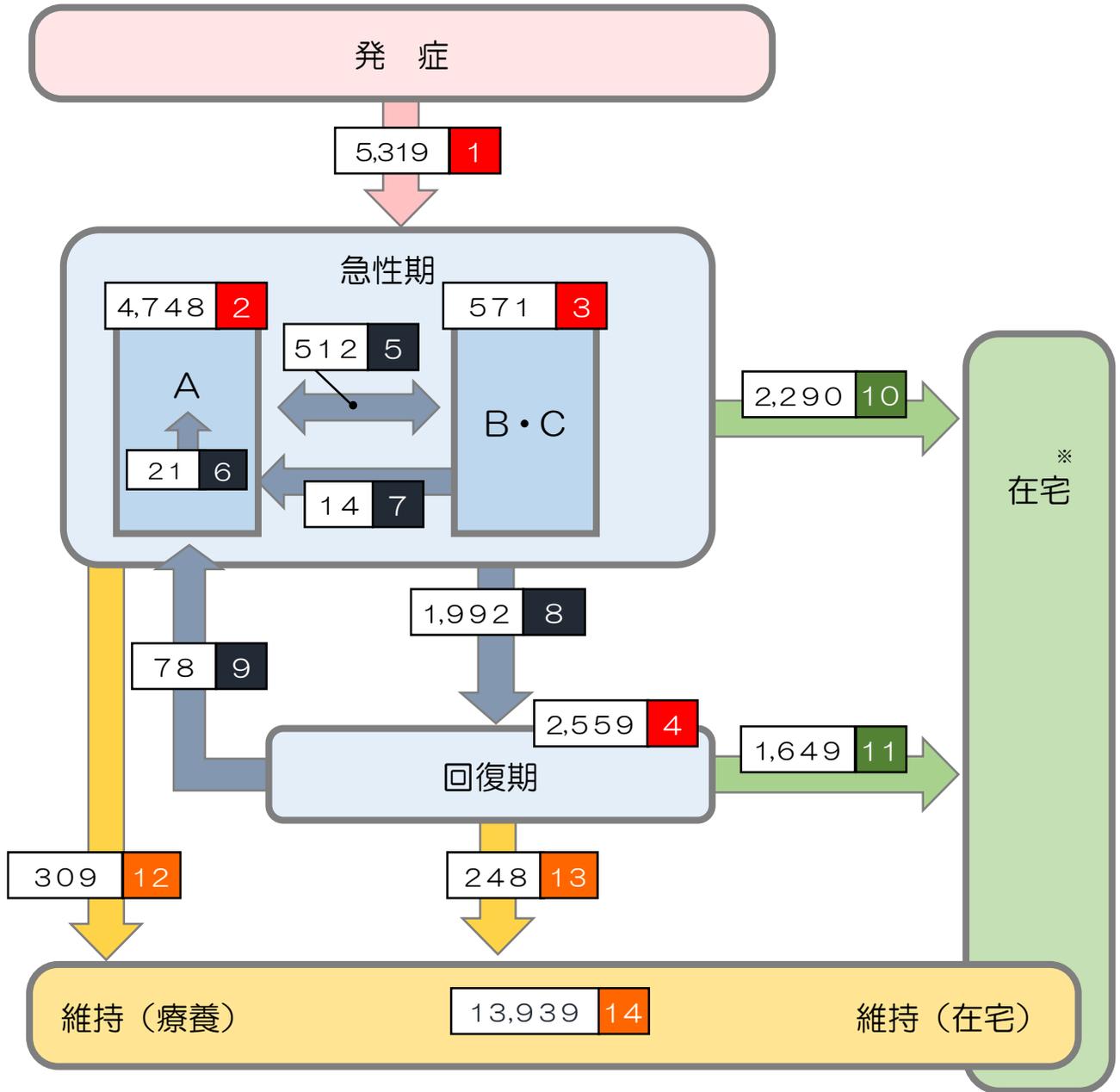
（3）脳卒中の再発により、（2）以外の医療機関へ転棟・転院した患者数上記<急性期A>以外へ転棟・転院した患者数を記載してください。

4. 令和5年度（R5/4/1～R6/3/31）のリハビリテーション実施状況

- ・ H001 脳血管疾患等リハビリテーション料及びH004 摂食機能療法を、上記期間中に算定している実患者数（人）を記載してください。入院患者、外来患者別に記載してください。
- ・ 1人の患者に複数回算定している場合も、「1（件）」とカウントしてください。
- ・ 同一患者が入院と外来において、それぞれ算定している場合は、令和5年度末現在（R6/3/31）の患者の状態で算定している方を「1（人）」とカウントしてください。

各調査項目の関係性(概念図)

(単位：人)



※ 自宅のほか、グループホーム等の医師が配置されていない生活の場を含む

1	急性期の新規入院患者 (P1_上表)	8	急性期から回復期への紹介 (P9_(5)表)
2	[1]のうち急性期Aへの新規入院患者 (P1_上表)	9	回復期から急性期Aへの紹介 (P8_(3)表)
3	[1]のうち急性期B・Cへの新規入院患者 (P1_上表)	10	急性期から在宅等生活の場への復帰 (P8_(1)表)
4	回復期の新規入院患者、紹介込み (P5_上表)	11	回復期から在宅等生活の場への復帰 (P8_(1)表)
5	急性期から他の急性期への紹介 (P1_上表)	12	急性期から維持期への紹介 (P9_(6)表)
6	入院後、急性期AからAへの紹介 (P8_(3)表)	13	回復期から維持期への紹介 (P9_(6)表)
7	入院後、急性期B・CからAへの紹介 (P8_(3)表)	14	維持期の総患者数 (P6_1表)

令和5年度 急性期医療機関別実績表

(件)

医療圏	急性期区分	医療機関名	急性期脳卒中入院患者数				治療実績									地域連携クリティカルパス作成件数(自院)	
			脳梗塞	一過性脳虚血発作	脳内出血	くも膜下出血	t-PA	脳内血腫除去術(脳卒中によるもの)	クリッピング術	脳動脈瘤等に対する脳血管内手術	脳動脈瘤及び脳動脈静脈奇形	選択的脳血栓・塞栓溶解術	経皮的脳血管形成術・経皮的脳血管ステント留置術	経皮的脳血栓回収術	頸動脈内膜剥離術		頸動脈ステント留置術
県南東部	A	岡山市立市民病院	305	21	104	37	29	15	13	22		1	47	6	10		131
		岡山赤十字病院	170	3	84	15	20	7	4	12			4	1	5		53
		(独)国立病院機構岡山医療センター	123	19	50	8	4	10	6					1			80
		岡山旭東病院	416	22	111	28	16	8	10	21		1	16		4	1	196
		岡山済生会総合病院	72	8	4												25
		岡山大学病院	36	3	5	9	11	12	6	91	1	1	6		8		
		川崎医科大学総合医療センター	232	7	85	25	42	13	9	12		1	7	1	4	2	377
		岡山労災病院	138	9	55	5		1	4	3					2		64
		岡山東部脳神経外科病院	198	1	41	22	2	4	4	17			6	4			33
		岡山中央病院	64	4	17	2	3	6									14
	B	総合病院岡山協立病院	29	5	8	4											
	C	光生病院	33	2	20	3											
		玉野三井病院	13	7	1	1											
		北川病院	13	9	2	2											
		岡村一心堂病院	18	8	6	2		1									
		総合病院玉野市立玉野市民病院	19		6	3											
		赤磐医師会病院	12		4	1											
	心臓病センター榊原病院	37	2		1		4					11		8			
		小計	1,928	130	603	168	127	81	56	178	1	4	97	13	41	3	973
県南西部	A	倉敷中央病院	693	45	224	88	73	36	27	63		6	94	19	12	8	918
		川崎医科大学附属病院	201	15	77	32	25	11	22	24		8	31	5	12	15	150
		倉敷平成病院	222	12	56	11	3	7	1	1							
	B	総合病院水島協同病院	64	4	8	1											6
	玉島中央病院	20	4	14	10												
	水島中央病院	63	15	6	1	2							1				
	C	笠岡第一病院															
	倉敷記念病院	7															
児島中央病院	1																
	小計	1,271	95	385	143	103	54	50	88		14	125	25	24	23	1,074	
高梁新見	C	高梁中央病院	42	3	7												
	小計	42	3	7													
津山英田	A	津山中央病院	271	38	104	35	35	21	11	18		2	38	5	8	182	
	小計	271	38	104	35	35	21	11	18		2	38	5	8	182		
真庭	A	金田病院	54		11	1	2										
	C	総合病院落合病院	26		2	2											
	小計	80		13	3	2											
	合計	3,592	266	1,112	349	267	156	117	284	1	20	260	43	73	26	2,229	

急性期 (A) の合計	3,195	207	1,028	318	265	151	117	284	1	20	249	42	65	26	2,223
急性期 (B) の合計	176	28	36	16	2							1			6
急性期 (C) の合計	221	31	48	15		5					11		8		

脳卒中・心臓病等総合支援センター について

岡山大学脳神経外科
田中將太

脳卒中・心臓病等総合支援センターモデル事業

事業の目的

○循環器病対策推進基本計画で、脳卒中・心臓病等（循環器病）患者を中心とした包括的な支援体制を構築するため、多職種が連携して、総合的な取組を進めることとしているが、これまでに都道府県が医療計画などで実施している対策よりも幅広い内容であり、各医療施設で個々の取組はされているものの情報が行き渡っているとはいえず、全ての支援について、十分なレベルで提供することに対して課題がある。

○この取組を効果的に推進するため、専門的な知識を有し、地域の情報提供等の中心的な役割を担う医療機関に脳卒中・心臓病等総合支援センターを配置し、都道府県と連携しつつ、地域の医療機関と勉強会や支援方法などの情報提供を行うなど協力体制を強化し、包括的な支援体制を構築することにより、地域全体の患者支援体制の充実を図ることを目的とする。

脳卒中・心臓病等総合支援センターモデル事業

<事業の概要>

都道府県の循環器病対策推進計画等を踏まえ、自治体や関連する学会等とも連携しながら、以下の内容に関する事業を行う。

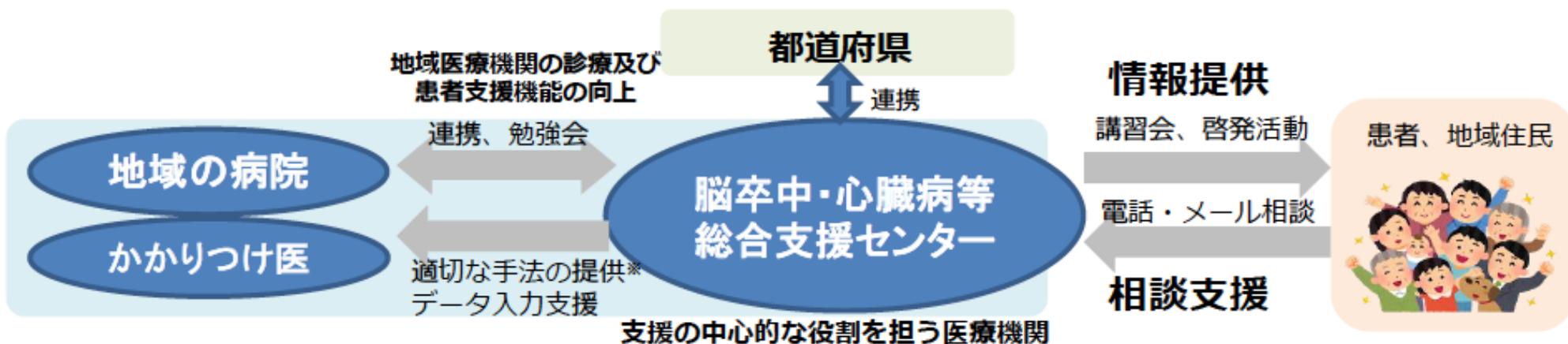
- ・循環器病患者・家族の相談支援窓口の設置（電話、メール相談を含む）
- ・地域住民を対象とした循環器病について、予防に関する内容も含めた情報提供、普及啓発
- ・地域の医療機関、かかりつけ医を対象とした研修会、勉強会等の開催
- ・相談支援を効率的に行う、資材（パンフレットなど）の開発・提供
- ・その他、総合支援を効率的に行うために必要と考えられるもの



<期待される効果>

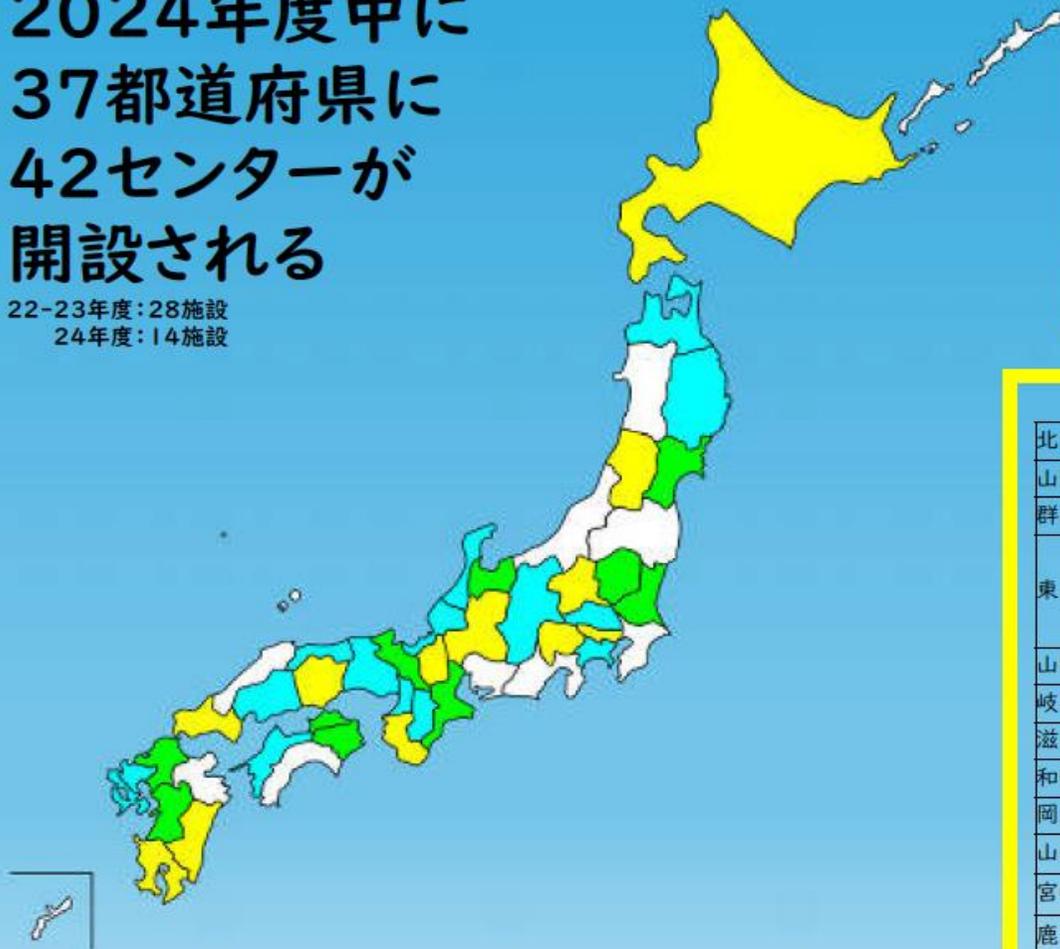
- ・地域医療機関の診療及び患者支援機能の向上が可能となる
- ・国民がワンストップで必要な情報を得られるとともに、より効率的かつ質の高い支援が可能となる

脳卒中・心臓病等総合支援センターモデル事業



2024年度中に 37都道府県に 42センターが 開設される

22-23年度：28施設
24年度：14施設



2022年度 施設 (10府県・12施設)

宮城県	東北大学病院
茨城県	筑波大学
栃木県	獨協医科大学病院 自治医科大学
富山県	富山大学付属病院
三重県	三重大学医学部付属病院
京都府	京都市立医科大学 京都大学
徳島県	徳島大学
香川県	香川大学
福岡県	九州医療センター
熊本県	熊本大学

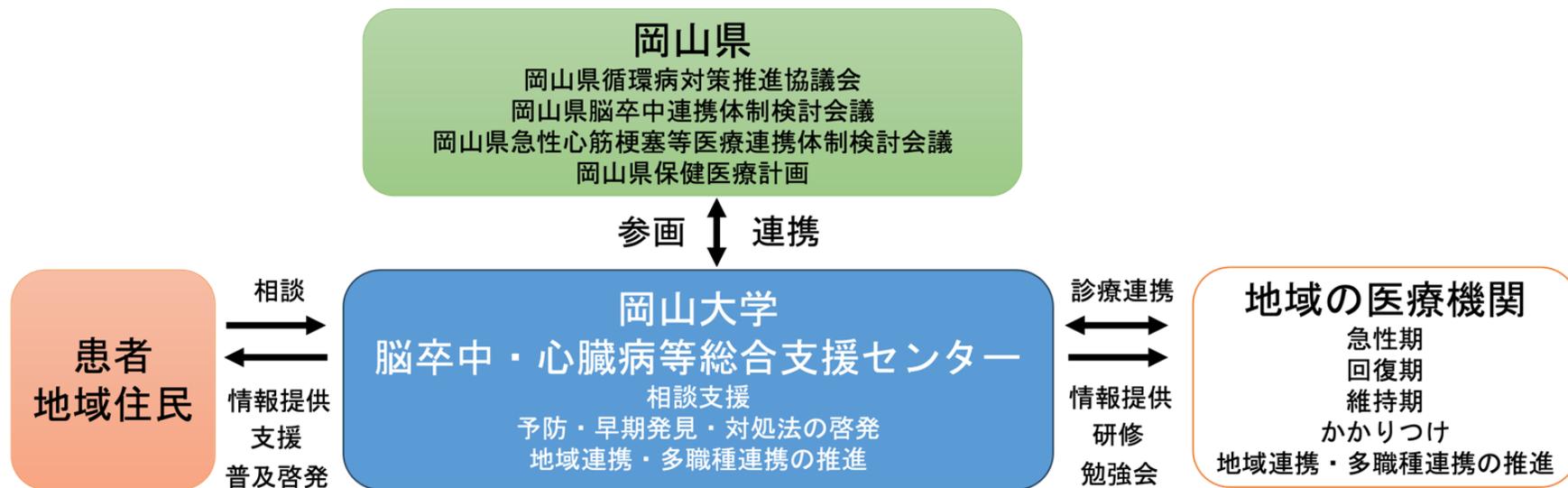
2023年度施設 (15府県・16施設)

青森県	弘前大学
岩手県	岩手医科大学
埼玉県	埼玉医科大学
神奈川県	東海大学医学部付属病院
石川県	金沢大学附属病院
福井県	福井大学医学部附属病院
長野県	信州大学医学部附属病院
大阪府	国立循環器病研究センター 神戸大学医学部附属病院
兵庫県	神戸市立医療センター中央市民病院
奈良県	奈良県立医科大学
鳥取県	鳥取大学医学部附属病院
広島県	広島大学病院
愛媛県	愛媛大学医学部附属病院
佐賀県	佐賀大学医学部附属病院
長崎県	長崎大学病院

2024年度施設 (12都道府県・14施設)

北海道	北海道大学病院
山形県	山形大学医学部附属病院
群馬県	群馬大学医学部附属病院
東京都	日本医科大学付属病院 榊原記念財団附属榊原記念病院 武蔵野赤十字病院
山梨県	山梨大学医学部附属病院
岐阜県	岐阜大学医学部附属病院
滋賀県	滋賀医科大学医学部附属病院
和歌山県	和歌山県立医科大学附属病院
岡山県	岡山大学病院
山口県	山口大学医学部附属病院
宮崎県	宮崎大学医学部附属病院
鹿児島県	鹿児島大学病院

岡山大学脳卒中・心臓病等総合支援センター



- 岡山大学病院内に、2024年7月1日に開設

センター長	岡山大学病院長：	前田嘉信
副センター長	循環器内科：	湯浅慎介
	心臓血管外科：	笠原真悟
	脳神経外科：	田中將太
	脳神経内科：	石浦浩之



ホームページの開設

脳卒中・心臓病等総合支援センター

トップ > 診療科・部門 > 診療科連携部門 > 脳卒中・心臓病等総合支援センター

診療科・部門

内科系診療科

歯科系診療科

薬剤部

看護部

医療技術部

聴覚支援センター

ダイバーシティ推進センター

中央診療施設

診療科連携部門

乳がん治療・再建センター

小児頭蓋顔面形成センター

頭頸部がんセンター

診療・運営体制



センター長

前田 嘉信

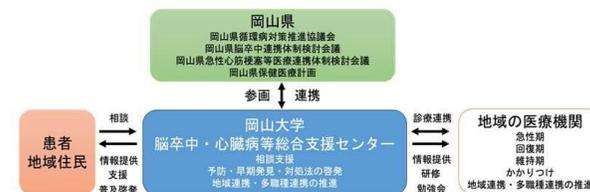
脳卒中・心臓病等総合支援センターでは、岡山県における循環器病患者を中心とした包括的な支援体制を構築し、全県をあげての循環器病診療連携体制を強化し、地域全体の患者支援体制の充実を図ります。また疾患啓発や社会支援等に関する広報活動を行い、地域の医療機関や医療者に対する研修会や勉強会を行い、岡山県全体の隅々まで行き届いた継続的医療体制を構築していきます。これにより岡山県における脳卒中・心臓病患者数の減少と健康寿命の改善を目的としております。

活動内容・特色

岡山大学病院では令和6年7月に脳卒中・心臓病等総合支援センターを開設しました。このセンターは、「循環器病対策基本計画」に則り、脳卒中・心臓病等（循環器病）患者を中心とした包括的な支援体制を構築することを目的としています。

- 認知症疾患医療センター
- 小児医療センター
- 口腔検査・診断センター
- てんかんセンター
- サルコマーセンター
- 成人先天性心疾患センター
- 口唇裂・口蓋裂総合治療センター
- メラノーマセンター
- 国際診療支援センター
- 優養性遺伝病センター
- デンタルインプラントセンター
- リプロダクションセンター
- 漢方臨床教育センター
- 看護教育センター
- 食道疾患センター
- クラークセンター
- 臨床心理センター
- 小児救命救急センター
- お口の健康管理センター
- 緩和ケアセンター
- 希少がんセンター
- 小児・AYAがん総合センター
- 神経内分泌腫瘍センター
- 脳卒中・心臓病等総合支援センター
- チーム医療

具体的には、①脳卒中・心臓病の患者様とそのご家族に対しての支援・相談体制の提供、②患者様へのリハビリテーションの提供／治療の意思決定に関する相談／病状が進行した患者さんへの緩和ケアの提供／小児から成人への診療移行の手助け といった脳卒中・心臓病に関わる包括的なサポート、③市民公開講座などを通しての住民の方への脳卒中・心臓病に関する啓発活動、④地域の医療機関とのさらなる連携と医療従事者に対するの勉強機会の提供を行っています。



スタッフ紹介

氏名	所属/役職 等
前田 嘉信	岡山大学病院/病院長 脳卒中・心臓病等支援センター長
笠原 真悟	心臓血管外科/教授 脳卒中・心臓病等支援副センター長
清浅 慎介	循環器内科/教授 脳卒中・心臓病等支援副センター長
田中 將太	脳神経外科/教授 脳卒中・心臓病等支援副センター長
石浦 浩之	脳神経内科/教授 脳卒中・心臓病等支援副センター長
森実 真	皮膚科/教授 総合患者支援センター センター長
石井 亜矢乃	総合患者支援センター/准教授、副センター長
三好 亨	循環器内科/講師
社 徳尚	循環器内科/助教
石田 謙治	脳神経外科/助教
小坂田 剛介	脳神経内科/助教

(<https://www.okayama-u.ac.jp/user/hospital/index486.html>)